

# 病虫害発生予察注意報 第1号

病虫害名：コムギ赤かび病

1 発生予想 コムギ赤かび病が多発する恐れがある。

2 対象地域 県下全域

3 根拠

- (1) 病虫害防除所の巡回調査ほの調査では、平成24年以降、赤かび病の発生は確認されなかったが、本年は5月下旬に1ほ場で赤かび病の感染が疑われる株が認められた。この黒褐変小穂を持ち帰り、室温で管理したところ、赤かび病の病原菌と判断されるフザリウム菌が確認された(表1)。
- (2) AMeDAS(アメダス)データを用いた『コムギ赤かび病感染予測システム ver.1.0』(表2)によると、平成24年以降は感染好適条件の出現回数が少なく、赤かび病の発生面積率は低く推移してきたが、本年は各地で数回出現しており、多発年であった平成16年、23年に迫る出現回数である。  
また、準感染好適条件(濡れ時間のわずかな不足により感染好適条件を満たさない)は、多くの地域で複数回出現しており、感染好適条件が出現していない地域でも注意が必要である。
- (3) 本年は県下各地で凍霜害の被害が発生しており、凍霜害を受けた穂は赤かび病に極めて感染しやすい。
- (4) 気象庁の5月27日発表の1か月予報では、気温は平年に比べて高く、降水量は期間の後半は平年と同様に曇りや雨の日が多いと予想され、今後も赤かび病の感染に適した気象条件が続くと予想される。

4 防除対策と留意点について

- (1) 開花期～2週間程度が最も感染しやすい時期であり、この時期に曇雨天が続くと多発する。これまで防除を行っていない場合は、直ちに防除を実施する。開花期に防除を行った場合にも、その後降雨が続くようであれば、追加防除(1回目の防除の10～14日後)を行う。
- (2) 防除薬剤は表3を参考に選択する。
- (3) 発生が見られる地域では、収穫期の降雨により発病が助長される可能性があるため、適期収穫を心掛け、収穫後は速やかに乾燥作業を行う。

表1 巡回調査ほにおけるコムギ赤かび病の発生地点割合の年次推移(%)

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
東信	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南信	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33.3
中信	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北信	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県全体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5.6

※ 平成24年～令和2年は6月上旬調査結果。令和3年は5月下旬調査結果。

表2 アメダスデータから推定した感染好適条件の出現日とコムギ赤かび病の発生面積率の年次推移

(農業試験場)

アメダス観測地点	平成16年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
上田	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5月21日
伊那	5月8日	5月10日										
	5月10日	5月29日	なし	なし	なし	なし	5月10日	なし	なし	なし	なし	
	5月14日	5月30日										
	5月16日											
	5月18日											
松本	5月16日	5月11日										5月17日
	5月17日	5月29日 5月30日	なし	なし	なし	なし	5月10日	なし	なし	なし	なし	5月21日
穂高	5月11日	5月10日										5月16日
	5月16日	5月29日	なし	なし	なし	なし	5月10日	なし	なし	なし	5月10日	5月17日
	5月31日	5月30日										5月21日
長野	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5月21日
県内の赤かび病発生面積率(%)	19.1	12.4	0.2	0.0	0	0	0	0	0	0.1	0	0

注) 判定は各年とも5月1日～5月31日の間で行っている。 —は未判定。

〈コムギ赤かび病感染予測システム ver. 1.0 について〉

本システムは、コムギ赤かび病の発生を予測するため、AMeDAS (アメダス) データをもとに、濡れ時間と濡れ時間中の温度の組み合わせから、赤かび病の感染好適条件であったか否かを判定するもの。

感染好適条件とは 10 時間以上の濡れ時間と、濡れている間の平均気温が必要温度を満たす (14～25℃で濡れ時間により異なる) 場合である。

表3 コムギ赤かび病の主な防除薬剤 (『令和3年農作物病害虫・雑草防除基準』掲載薬剤)

農薬名	希釈倍率	使用方法	使用時期	使用回数	FRACコード
石灰硫黄合剤	50	散布	—	—	M2
イオウフロアブル	400		—	—	M2
トップジンM水和剤	1,500		収穫 14 日前まで	出穂期以降 2 回以内	1
シルバキュアフロアブル	2,000		収穫 7 日前まで	2 回以内	3
チルト乳剤 2.5	2,000		収穫 3 日前まで	3 回以内	3
トリフミン水和剤	2,000		収穫 14 日前まで	3 回以内	3
トップジンMゾル	8	無人航空機による散布	収穫 14 日前まで	出穂期以降 2 回以内	1
シルバキュアフロアブル	16		収穫 7 日前まで	2 回以内	3

※ 令和3年5月26日現在 (JPP ネット確認)。

イオウフロアブルは高温時には薬害を生じるので散布しない。

使用前に必ずラベルをよく読み、使用基準を遵守し、適正に使用する。

長野県病害虫防除所  
 鈴木正幸 (所長) 若林秀忠 (担当)  
 TEL : 026-248-6471 (直通)  
 FAX : 026-248-6473  
 E-mail bojo@pref.nagano.lg.jp